

コロニー山口

発行/社会福祉法人山口県コロニー協会 防府市台道522
TEL.0835-32-0069 <http://www.ycolony.or.jp/>



写真：協会内に咲く「あじさい」の前にて！

コロニーまつり

祭

平成30年9月29日(土)開催

11:00~15:00 <予定>



就任のご挨拶



理事長 岡本 幸生

この度、法人役員会におきまして山根理事長の後任として理事長の大役を仰せつかることとなりました。

私が本協会に御世話になって5年目を迎えました。これまでの4年間は本協会組織の改革と経営の改善に取り組んだ日々でした。前任の山根理事長が先頭に立って改革と改善に全力で取り組まれましたが、そのぶれない姿勢と残された成果の大きさには頭が下がる思いです。

私は、この精神を引き継いで職員の皆さんと一緒に力を合わせて頑張っていきたいと考えています。

昭和31年に結核回復者数名の任意団体としてコロナー建設が始まって以来、60年以上の歴史をこの地で刻み続けることができました。社会福祉法人山口県コロナー協会として今日があるのは、諸先輩方の努力はもとより、多くの方々のご理解とご支援に恵まれ、皆様とのご縁を大切にしてきたことによるものだと思います。

本協会の創始の理念である「開拓者の心」「働く喜び」「可能性の追求」「連帯と協力」「豊かな社会」を忘れることなく、今後も本協会が発展していけるように職員と力を合わせ希望の未来を目指します。

微力ではございますが、今後の法人ならびに地域福祉の向上、社会福祉法人としての使命を全うするため力の限り努めて参ります。

皆様方の今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

就任のご挨拶



業務執行理事 黒 宰 満

このたび、岡本前業務執行理事の理事長就任により、その後任として就任いたしました。

本協会には平成22年度から4年間に職をしておりましたが、当時は丁度、障害者自立支援法から障害者総合支援法への法改正がなされました。各事業所は新制度にマッチする運用への変革が求められており、これまで山根前理事長を先頭に、本協会組織をあげて事業の再編や体制の見直しに取り組んでこられた結果、その成果は着実に現れつつあります。

しかしながら、本協会が社会福祉法人、障害者支援施設そして障害福祉サービス事業所として安定した運営を行っていくためには、何よりも利用者の定員充足、利用率向上を図っていかねばならないところであります。そのためには、本協会を利用して頂いている利用者の方々に満足していただける福祉サービスが提供できるように、絶えずサービス内容全般を検証、改善し、誰もが利用したいと思っただけの施設にしていくことが何よりも大切であると感じております。

もとより微力ではありますが、今、本協会が抱える問題の解決に岡本理事長をはじめ、全職員と協力しながら、地域で愛される施設となるように努めていきたいと存じますので、ご指導ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

平成30年度事業計画

基本方針

近年、障害者の福祉制度は「障害者自立支援法」に改正（平成25年4月）されました。この改正でそれまでの措置費の制度から利用者との契約に基づく利用に応じた支援費制度が完全に適用されることとなり、改正された障害者の福祉制度による運用が始まりました。この制度改正に伴い障害者福祉事業を運営する事業所は制度改正に対応するための大きな変化が求められましたが、本協会の対応は残念ながら十分であったとは言えませんでした。平成26年度から、これへ対応するために必要な経営改善を取り組んでまいりました。

平成30年度は、「キャンパスよしき」のあり方の再検討を含め、引き続き経営改善に取り組んでまいります。

また、平成29年4月から改正社会福祉法の施行による社会福祉法人制度の改革が行われました。

この改革に伴い本協会の平成29年度は、定款の変更をはじめとして役員の改選や理事会と評議員会のあり方など、従前からの法人の経営体制や運営の仕組みが大きく変化した1年となりました。

平成30年度は、この法の改正により義務付けられた「地域における公益的な取組を実施する責務」を実施するために市社会福祉協議会を中心とする協議会が立ち上げられます。本協会もこの協議会に参加し公益的な取組を実施できるように取り組んでまいります。

平成30年度事業計画に基づき職員が一丸となって事業運営に取り組んでまいります。

平成30年度協会スローガン

あいさつで

明るい職場に

広がる笑顔

法人単位事業活動計算書

(自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)

勘定科目	当年度決算(A)		前年度決算(B)		増減(A)-(B)
	金額	金額	金額	金額	
収益	162,287,618	187,762,410	△25,474,792		
収支	268,761,857	254,660,272	△14,101,585		
経常経費等補助金収益	206,000	10,000	196,000		
その他の収益	4,198,976	2,937,784	1,261,192		
サービス活動収益計(1)	435,484,451	445,370,446	△9,885,995		
費用	199,817,664	201,859,875	△1,942,211		
人件費	42,791,684	35,305,058	7,486,626		
事業費	35,237,671	39,724,582	△4,486,911		
収支	165,127,390	188,997,730	△23,870,340		
減価償却費	40,909,022	40,289,889	619,133		
国庫補助金等特別積立金取崩額	△26,518,159	△26,143,104	△375,055		
サービス活動費用計(2)	457,465,252	477,925,404	△20,459,788		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△22,010,801	△32,554,958	10,543,783		
収益	4,500	9,000	△4,500		
受取利息等当金収益	29,440	32,122	△2,682		
その他のサービス活動外収益	7,732,190	8,543,984	△811,774		
サービス活動外収益計(4)	7,766,130	8,585,086	△818,956		
収支	590,735	467,699	123,036		
サービス活動外費用計(5)	590,735	467,699	123,036		
サービス活動増減差額(6)=(4)-(5)	7,175,395	8,117,387	△941,992		
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△14,835,406	△24,437,207	9,601,801		
特別増減	0	2,450,000	△2,450,000		
固定資産売却益	240,000	0	240,000		
特別増減差額(8)	240,000	2,450,000	△2,210,000		
固定資産売却損・処分損	3	1	2		
国庫補助金等特別積立金積立額	0	2,450,000	△2,450,000		
特別費用計(9)	3	2,450,001	△2,446,998		
特別増減差額(10)=(8)-(9)	239,997	88	239,809		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△14,595,409	△24,437,109	9,841,700		
前期繰越活動増減差額(12)	210,115,407	234,554,023	△24,438,616		
当期繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	195,519,998	210,116,914	△14,596,916		
基本金取崩額(14)	0	0	0		
その他の積立金取崩額(15)	0	0	0		
その他の積立金積立額(16)	1,507	1,507	0		
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	195,518,491	210,115,407	△14,596,916		

法人単位資金収支計算書

(自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)

勘定科目	予算(A)		決算(B)		差異(A)-(B)
	金額	金額	金額	金額	
収入	165,216,000	162,287,618	2,928,382		
収支	266,615,000	268,761,857	△2,146,857		
収入	4,500	4,500	0		
経常経費等補助金収入	100,000	206,000	△106,000		
受取利息等当金収入	38,000	29,440	8,560		
その他の収入	10,203,000	11,922,428	△1,719,428		
事業活動収入計(1)	442,116,000	443,211,844	△1,095,844		
支出	175,206,000	202,785,553	△27,579,553		
人件費支出	45,287,000	42,791,684	2,495,316		
事業費支出	40,720,000	35,237,671	5,482,329		
収支	160,712,000	163,316,786	△2,604,786		
収支	590,735	590,735	0		
支払利息支出	420,515,251	444,727,409	△24,208,658		
事業活動資金収支差額(2)=(1)-(2)	21,660,749	△1,510,566	23,171,315		
収入	0	0	0		
施設整備等収入計(4)	0	0	0		
設備資金借入金元金償還支出	11,608,000	11,608,000	0		
固定資産取得支出	2,913,000	727,380	2,185,620		
ファイナンス・リース債務の返済支出	0	497,664	△497,664		
施設整備等支出計(5)	14,521,000	12,833,044	1,687,956		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△14,521,000	△12,833,044	△1,687,956		
積立資産取崩収入	3,153,000	4,771,614	△1,618,614		
その他の活動外収入計(7)	3,153,000	4,771,614	△1,618,614		
独立資産支出	2,736,000	2,856,257	△120,257		
その他の活動外支出計(8)	2,736,000	2,856,257	△120,257		
資金収支差額(9)=(6)+(7)-(8)	417,000	1,915,357	△1,498,357		
前期繰越資金収支差額(10)	6,000,000	0	6,000,000		
当期資金収支差額合計(11)=(9)+(10)	1,556,749	△12,428,253	13,985,002		
前期末支払資金残高(12)	189,790,000	160,633,748	29,156,252		
当期末支払資金残高(13)=(11)+(12)	191,346,749	148,205,495	43,141,254		

法人単位貸借対照表

(平成30年3月31日現在)

(単位:円)

資産の部			負債の部		
科目	当年度末	前年度末	科目	当年度末	前年度末
流動資産	210,959,813	214,539,138	流動負債	66,863,591	59,374,854
現金預金	148,817,230	150,643,532	事業未払金	34,296,144	31,048,916
事業未収金	53,336,369	56,503,855	支払手形	7,322,435	6,667,484
未収補助金	4,500	9,000	1年以内返済予定設備資金借入金	10,608,000	11,608,000
受取手形	811,320	882,328	1年以内返済予定リース債務	995,328	0
商品・製品	423,784	502,916	預り金	3,762,266	67,585
仕掛品	1,868,500	933,100	職員預り金	8,739,097	9,293,191
原材料	5,201,771	4,702,520	前受金	1,140,321	689,678
立替金	496,339	361,887	固定負債	192,523,948	197,588,138
固定資産	1,045,283,772	1,081,558,220	設備資金借入金	150,198,000	160,806,000
基本財産	933,570,229	963,630,809	リース債務	7,464,960	0
土地	57,356,820	57,356,820	退職給付引当金	34,860,988	36,782,138
建物	876,213,409	906,273,989	負債の部合計	259,387,539	256,962,992
その他の固定資産	111,713,543	117,927,411	純資産の部		
建物	31,831,982	34,766,742	基本金	205,290,081	205,290,081
構築物	8,910,307	11,102,032	第一号基本金	47,833,581	47,833,581
機械及び装置	9,248,201	12,277,233	第二号基本金	157,456,500	157,456,500
車両運搬具	4,509,804	8,007,247	国庫補助金等特別積立金	590,014,796	617,697,707
器具及び備品	5,881,408	6,846,643	その他の積立金	6,032,678	6,031,171
有形リース資産	8,460,288	0	施設整備等積立金	6,032,678	6,031,171
権利	828,210	828,210	次期繰越活動増減差額	195,518,491	210,115,407
ソフトウェア	264,277	400,595	(うち当期活動増減差額)	△14,595,409	△24,437,109
退職給付引当資産	34,860,988	36,782,138	純資産の部合計	996,856,046	1,039,134,366
施設整備等積立資産	6,032,678	6,031,171	負債及び純資産の部合計	1,256,243,585	1,296,097,358
差入保証金	825,000	825,000			
その他の固定資産	60,400	60,400			
資産の部合計	1,256,243,585	1,296,097,358			

平成29年度事業報告

概況

平成29年度は、社会福祉法人制度改革の適用を受けた組織運営、事業運営が始まった年でした。

組織運営では、改正後の定款や規程に基づき理事会及び評議員会を開催し、事業運営では改正した組織運営規程を始め経理規定や事務決裁要綱等に沿った手続きによる事務を行いました。新しい制度のもとで職員にとまどいは多少感じられました。新しい制度の新たな事務処理の方法等が定着してきた1年でした。

平成26年度から取り組んでいる経営改善を引き続いて取り組みました。利用者の確保や民間事業所への就労とその定着について、満足のいく実績が得られず苦慮してきた就労移行支援事業（定員6名）は、平成29年2月から事業を休止し平成30年2月末で事業を廃止いたしました。

今後、民間の事業所と情報交換等を行い、求人の多い職種を調査等するなど利用者の就職の可能性が広がるようにすると共に、支援の方法等も先進例等を参考に検討して、事業の再開を目指します。

近年、本協会で力を入れてきた職員研修も引き続き実施しました。継続して実施している研修メニューに加え、平成29年度は新人職員が5名と多かったため「メンター・メンティー研修」を1年間行いました。

新人職員（メンティー）は勿論のことメンターを務めた職員にとっても大きな研修の成果を得ることができました。

また、本協会の事業や施設をより多くの人に知ってもらえるようにするため、実習や見学の受入に力をいれました。その結果、少人数の見学は勿論のこと総合支援学校の先生、生徒、保護者の合計で約30名、40名の単位での見学も何組か実施できました。今後とも多くの見学や実習を利用して頂くことが本協会の支援事業の拡大にも繋がると考え、引き続き力を入れていきたいと考えています。

土砂災害避難訓練

6月1日(金)に平成30年度「土砂災害・全国統一防災訓練」に参加しました。

本協会は敷地北側が急傾斜地崩壊警戒区域となっており、毎年避難訓練を行っています。



今年度は、NPO法人山口県防災・砂防ボランティア協会が行う出前講座を受講させて頂きました。

実働避難訓練では、職員が避難ルートを周知し安全かつスムーズに避難誘導ができたように感じました。しかしながら、自然災害等はいつ起こるか分かりません。山口県防災・砂防ボランティア協会様から学んだ知識を活用して、色々な想定の下、避難訓練を実施していきたいと思えます。



メンター・メンティー研修を終えて 29年度

本協会では、平成29年度に新人研修の一貫としてメンター制度を取り入れ、メンター・メンティー研修を実施し、5人の新人職員と先輩職員が参加しました。

メンター制度とは・・・

先輩職員（メンター）が、新人職員（メンティー）の課題解決や悩みの解消を援助して新人職員の成長をサポートする役割を果たします。

具体的には定期的な面談をして、仕事上の課題や悩み等に耳を傾け、メンティー自らがその解決に向けて意思決定し、行動できるように支援します。

*メンターは基本的には異なる部署の先輩がメンターになることが一般的です。

メンター制度の効果

メンティーのモチベーションの向上だけでなく、メンター自身もメンティーへの支援を通じて、人材育成意識が向上するなど、双方にメリットがあります。

部門、部署を超えたメンター、メンティーの組み合わせにより組織の連携、ネットワークが可能となり、組織の活性化に繋がると言われます。

研修を終えての感想

〈メンター〉

・「人の話を聴く」「相手の考えを感じる」大切さを学ばせてもらった。

・改めて人と話すことの大切さと難しさを感じたが、これから活かしたい。

・自分の成長と価値観を知るいい機会となった。

・相手を理解する中で自分のことを振り返ることが出来た。

〈メンティー〉

・他部署の方と関わるきっかけを持つことが出来てよかった。

・他部署の仕事情の内容が理解できるようになった。

・自分が悩んでいることや疑問に思ったことが、解決できるのでもっと良い時間だった。

・面談の時だけでなく、日頃から話しかけて下さってうれしかった。

レクリエーション色々

3月
24日

所内レクリエーション (スポーツ・カラオケ大会)



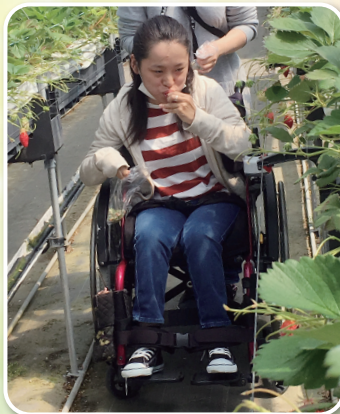
3月24日(土)に所内レクリエーションを行いました。午前中はスポーツ(ボッチャとフライングディスク)でいっぱい体を動かし、昼食は海鮮丼とデザートを食べ、午後からカラオケ大会をしました。みなさんとても楽しんでいました。



4月
21日

いちご狩り

4月21日(土)、天候にも恵まれ絶好のいちご狩りの日でした。ビニールハウスの中は少し暑く、みなさん少し汗をかきながらも一生懸命いちごを採っては食べられていました。その後、ゆめタウン山口でお腹いっぱいの状態の中、ガッツリ昼食を取られてお買い物を楽しまれました。



5月
19日

所内レクリエーション(ゲーム)



5月19日(土)に所内レクリエーションを行いました。“誰が”、“どこぞ”、“何をした”をそれぞれ考えて、ランダムに組み合わせ文章を作るゲームをしました。面白い文章がたくさん出来て、終始盛り上がり皆さん楽しんでました!



6月
10日

ナイスハート・ふれあいのスポーツ広場



6月10日(日)自動車総連主催によりリリアアリーナ防府で行われた「ナイスハート・ふれあいのスポーツ広場」に参加しました。午前中はロープ渡り、風船バレー等の競技、午後からは雑語、傘回し、体操など様々なプログラムが行われました。参加者全員で笑ったり、汗を流したいと充実した時間を過ごすことが出来ました。



5月
27日

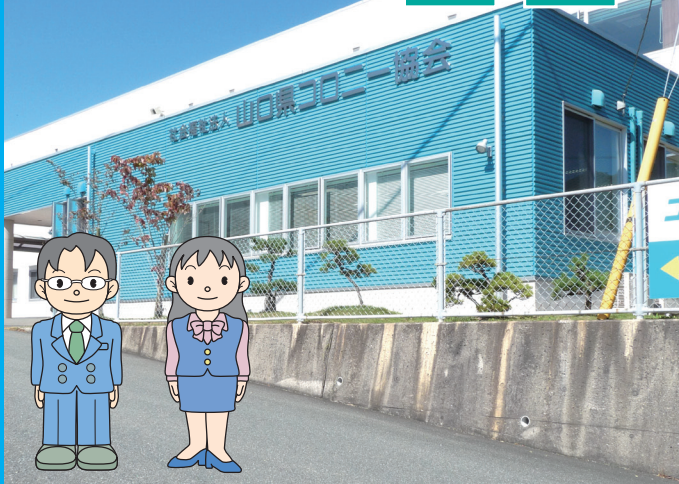
キラリンピック (フライングディスク)



5月27日(日)にきららドームで開催されたフライングディスク大会に参加しました。的にディスクが入った個数を競うアキュラシー、飛距離を競うディスタンスの2種目があり、皆さん日頃の練習の成果を発揮し、多くのメダルを獲得されておりました!参加された方、お疲れ様でした。



新入職員 紹介



ワークセンター支援係 戸田 規子

4月からワークセンターに配属になりました。今回5年ぶりに地元に戻ってきて働きます。いろいろと慣れない面も多いですが、利用者の皆さんと楽しく過ごしていきたいと思っています。これからよろしくお願いします。

キャンパス支援第1係 中島 寛基

この度、縁あって皆様と再び一緒にお仕事をさせて頂くことになり、キャンパスの支援第1係へ配属になりました。心機一転、初心に戻り、職務に邁進して参る所存でございます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

主な行事 平成30年4月～6月

4月	2日(月)	年度初め式 辞令交付
	7日(土)	ワークセンター所内レクリエーション
	14日(土)	じばさん販売会(～15日)
	19日(木)	新入職員研修
	21日(土)	いちご狩りレクリエーション
	24日(火)	防府市就労支援部会
	27日(金)	定期健康診断
	30日(月)	ワークセンター所内レクリエーション
5月	3日(木)	仁保の郷販売会
	11日(金)	防府市社会福祉施設連絡協議会
	14日(月)	監事監査
	16日(水)	防府総合支援学校進路説明会
	18日(金)	防府市研修部会
	19日(土)	ワークセンター所内レクリエーション
	21日(月)	安全衛生委員会
	22日(火)	セルブ藤山見学会(50名)
	24日(木)	防府市長選挙及び防府市市議会議員補欠選挙不在者投票
	25日(金)	メンター・メンティー研修
	27日(日)	第18回キラリンピック【フライングディスク】
31日(木)	ゼンコロ理事会・総会(～6月1日)	
6月	1日(金)	土砂災害・全国統一防災訓練
	3日(日)	理事会 評議員選任・解任委員会
	4日(月)	主任研修
	5日(火)	管理職特別研修
	8日(金)	山口県社会福祉法人経営者協議会総会セミナー 全国安全週間行事説明会
	10日(日)	ナイスハートふれあいスポーツ広場
	21日(木)	定時評議員会
	22日(金)	勝軍地藏法要 平成30年度児童・障害者福祉施設等中堅職員研修
	23日(土)	ワークセンター所内レクリエーション 山口県障害福祉サービス協議会平成30年度総会・部会・特別研修会
	26日(火)	平成30年度児童・障害者福祉施設等中堅職員研修

平成29年12月～
平成30年5月末

入所者

キャンパス ……6名
(内よしき2名)
ワークセンター ……3名
ワークショップ ……0名

退所者

キャンパス ……7名
(内よしき3名)
ワークセンター ……2名
ワークショップ ……1名

